

2004年度 Block. 6

課題 No. 4

課題名：泣いてばかり



※断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

ある日の午後、小児科外来に電話がかかってきました。
「1カ月半の男の子なんですが、泣いてばかりいるんです。心配なのでこれから診てほしいんですが、連れていってもいいでしょうか？」
「わかりました。どのくらいでいらっしゃれますか？」

抽出を期待する事項

- 1) 乳児が泣く原因 (病的、非病的)
- 2) 乳児の特徴

シート2

1 時間後、疲れた顔をした若いお母さんが赤ちゃんを抱いて病院にやってきました。泣き疲れてしまったのか、赤ちゃんはぐっすり眠っています。
「可愛いわねえ。お名前は？」と看護師さんが聞くと、「健太です。今日で生まれて45日になりました。」と言って、お母さんはちょっとにっこりしました。看護師さんが体温を測り、身体測定をしたあと、健太くんとお母さんは診察室に入りました。小児科の先生は、母子手帳を見ながらお母さんに健太くんの様子を詳しく尋ねました。「じゃあ、ひととおり診察しましょうね。」

抽出を期待する事項

- 1) 小児の病歴聴取
- 2) 小児の診察
- 3) 母子手帳の記載事項
- 4) 家族の不安への対応
- 5) 医師以外の医療スタッフの業務（他の医療関係職との連携）

資料

1. 母子手帳

シート3

健太くんの病歴、所見は次のとおりでした。

妊娠中特記すべきことなし。

40週1日、正常分娩にて出生。仮死なし。黄疸正常範囲。

生後5日に産科を退院。母乳栄養。

生後30日、出生した産科で1ヵ月健診を受けている。とくに異常は指摘されず、マススクリーニングの結果も正常といわれ、ビタミンK2シロップを飲んで帰宅した。

生後40日頃からよく泣くようになった。

全身状態良好。体温 37.2°C。

頭部：変型なし。大泉門平坦。

胸部：肺呼吸音正常。心雑音なし。

腹部：軟、平坦。肝臓辺縁を触れる。脾臓触れず。腸雑音正常。腹部に腫瘤は触れない。

皮膚発疹なし。咽頭発赤なし。四肢の運動制限なし。

抽出を期待する事項

- 1) 乳児の身体発育の評価、体重増加不良
- 2) 乳児健診
- 3) 小児の検査値の評価

資料

2. 乳幼児発育曲線
3. 健太くんの身体測定値
4. 健太くんの検査値

シート4

「健太くんは母乳栄養ですね。どんなふうに飲んでいますか？」
「欲しがったら飲ませるようにしているので、1日に10回くらい、飲んでいます。1時間以上、くわえて離しません。そのまま眠ってしまうこともあります。だいたい2時間おきくらいになるので、私も疲れてしまって。」
「それは疲れますよね。お母さんも大変ですね。ミルクを足したりはしていないのですか？」
「育児書には母乳の方が赤ちゃんにはいいと書いてあるので、与えたことはありません。こんな小さい子にミルクをあげても大丈夫でしょうか？」

抽出を期待する事項

- 1) 母乳不足の診断
- 2) 母乳栄養と人工栄養
- 3) 育児不安

シート5

先生に言われてお母さんはミルクを足してみることにしました。

2週間後、健太くんが病院を受診したとき、体重は4600gになっていました。

「泣くことが少なくなりました。」と、お母さんの顔も少し明るくなったようです。

「でも、先生、赤ちゃんはこれからいろんな病気にかかったりしますよね。お父さんは仕事で忙しくて帰りが遅いし、私の母は遠くに住んでいるので、相談できる人がいないので、不安です。」

抽出を期待する事項

- 1) 母乳不足への対応
- 2) 乳幼児がかかりやすい病気
- 3) 育児サポート